

# 平成19年度6月補正予算の概要

## 1 予算規模等

今回の補正予算は、小・中学校耐震補強対策事業の公共事業をはじめ、犬舎アスベスト対策事業、消防無線整備事業等の単独事業、並びに乳幼児外来医療費の助成対象を就学前児童まで拡大するための就学前外来医療助成費のほか、障害者自立支援特別対策事業費、市制70周年記念事業費、小・中学校ハートなんでも相談員設置事業費等の施策費について措置しています。

この結果、一般会計では、補正額2億1,103万1千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ410億6,823万6千円となり、対前年度同期比は、2億608万3千円、0.5%の増となっています。

また、特別会計では、介護保険事業特別会計が、補正額158万8千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ95億3,640万7千円となり、対前年度同期比は、5億1,471万5千円、5.7%の増となっています。

一般会計、特別会計合わせた補正額は、2億1,261万9千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ848億3,129万5千円となり、対前年度同期比は、9億9,958万7千円、1.2%の増となっています。

## 2 一般会計補正予算の主な事業

### (1) 公共事業

#### 小・中学校耐震補強対策事業(教育委員会 学校教育課)

##### 1 事業目的

地震による校舎、体育館の倒壊等の被害から児童・生徒を守り、安全で快適な教育環境の整備を図る。

##### 2 補正の内容 工事費の追加

(単位：千円)

事業費(小学校)		補正前	今回補正額	補正後
		468,382	37,803	506,185
財源内訳	国	169,517	13,038	156,479
	市債	209,200	52,100	261,300
	一財	89,665	1,259	88,406
事業費(中学校)		補正前	今回補正額	補正後
		150,180	87,333	237,513
財源内訳	国	63,497	16	63,481
	市債	64,600	65,500	130,100
	諸収入	0	10,000	10,000
	一財	22,083	11,849	33,932

二次診断結果に基づく耐震補強実施設計の結果、不足する工事費を追加する。

今年度実施校 ・小学校：金子(体育館、校舎) 大生院(体育館) 船木(校舎) 泉川(校舎)  
・中学校：西(体育館) 川東(体育館) 中萩(校舎)

##### 3 補正に係る財源内訳

国1/2(13,054千円) 市債75%(117,600千円) 市町振興協会交付金(10,000千円)

## (2) 単独事業

### 犬舎アスベスト対策事業（環境部 生活環境課）（新規）

#### 1 事業目的

石綿障害予防規則に基づき、旧清掃センター内の犬舎の安全性を確保し、施設の適正な維持管理を図る。

#### 2 補正の内容 工事費の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	1,884	1,884
財源内訳	一財	0	1,884	1,884

平成18年度のアスベスト関係法の改正・施行によって、対策が必要なアスベスト含有基準が1%を超えるものから0.1%を超えるものに変更され、基準を超えることとなった犬舎部分について、囲い込みによるアスベスト対策工事を実施する。（テントシートによる囲い込み130m<sup>2</sup>等）

### 消防無線整備事業（消防本部 総務警防課）（拡充）

#### 1 事業目的

各種無線機器の不具合を修理するとともに、すべての機器を良好な状態に維持管理する。

#### 2 補正の内容 負担金の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		500	1,611	2,111
財源内訳	一財	500	1,611	2,111

消防救急無線が、平成28年5月までにデジタル方式へ移行することに伴い、管轄区域における電波不感地帯を調査するために、県内一斉に電波伝搬調査が実施される（本年7月～10月実施予定）。この調査費用の本市負担見込額について、平成19年2月に通知があったことから負担金を予算措置する。

単独事業は、これらの事業で、1,689万7千円の増となっています。

## (3) 施策費

### 就学前外来医療助成費（福祉部 児童福祉課）（拡充）

#### 1 事業目的

次代を担う子どもを健やかに産み、育てる環境づくりの一環として、若い子育て世代の経済的・精神的負担を軽減し、子育てを社会全体で支え、少子化問題に対応していくため、平成20年1月から、乳幼児外来医療費の助成対象児を、現在の3歳未満児から就学前児童に拡大する。

#### 2 補正の内容 扶助費、委託料等の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	15,604	15,604
財源内訳	一財	0	15,604	15,604

#### スケジュール

- ・6月 条例改正、補正予算
- ・7月 受給資格証印刷、システム改修
- ・8月 市政だより掲載（9月号、11月号）
- ・9月～ CATV放送

- ・ 12月中旬 受給資格証発送（以降は3歳到達月の月末に送付）
- ・ 1月 乳幼児医療費助成拡大
- ・ 3月 乳幼児医療費助成拡大分の請求、支払い
- (1)扶助費 11,776千円（外来は3歳未満、入院は就学前 **外来・入院とも就学前に拡大**）  
幼児外来医療費（1月診療分、H20.1.1施行のため）対象者：約4,300人
- (2)委託料 3,150千円  
新居浜市独自仕様に対応するためのシステム改修委託料
- (3)役務費 527千円  
受給資格証送付、国保連手数料
- (4)需用費 151千円  
事務費、資格証等印刷

**障害者自立支援特別対策事業費（福祉部 福祉課）（新規）**

**1 事業目的**

障害者自立支援法施行に伴う激変緩和と新法への円滑な移行の促進のため、愛媛県障害者自立支援対策臨時特例基金を活用した特別対策事業を実施し、障害者及び障害児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように支援する。

**2 補正の内容** 委託料、補助金の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	18,131	18,131
財源内訳	県	0	13,677	13,677
	一財	0	4,454	4,454

(1)委託料 315千円（補助率：県10/10）

障害者自立支援法システム改修（国保連とのデータ交換を可能とする）

(2)通所サービス利用促進事業補助金 17,816千円（補助率：県3/4）

通所施設や日中活動サービスにおける送迎サービスに対し助成を行うことで送迎サービスの実施を促進し、利用者がサービスを利用しやすくする。（身障センター、あゆみ苑など6事業所）

**3 補正に係る財源内訳**

県10/10（315千円） 県3/4（13,362千円）

**市制70周年記念事業費（企画部 総合政策課）**

**1 事業目的**

平成19年度に市制施行70周年を迎えるにあたり、市制70周年を記念して、【温故知新～伝えよう未来へ～】のテーマに沿って、市制発展の気運を高めるため、市制70周年記念式典等をはじめとする各種事業を開催する。

**2 補正の内容** 需用費、委託料等の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		19,281	28,500	47,781
財源内訳	財産収入	1,500	0	1,500
	諸収入	42	1,500	1,542
	一財	17,739	27,000	44,739

市制70周年を記念して、太鼓祭り統一イベントを実施する。

(1)河川敷西岸新高橋南（川西地区、川東地区、川東西部地区）

(2)山根グラウンド（上部地区）

(3)M2前（大生院地区）

**いじめ・不登校問題等対策費（教育委員会 学校教育課）（拡充）**

**1 事業目的**

学校に行きたくても行けない児童・生徒に対し、適応教室（あすなる教室）等での様々な体験活動やカウンセリングなどによって、再登校、進学できるように支援する。

**2 補正の内容** 報償費、需用費等の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		8,872	2,184	11,056
財源内訳	県	0	2,184	2,184
	一財	8,872	0	8,872

いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応を中心とした効果的な取組について、児童生徒の状況把握の在り方、小・中学校の連携や学校・家庭・地域・関係諸機関によるネットワークを活かした児童生徒の支援の在り方について、実践的な調査研究事業が国において実施される。このうち、不登校対策ネットワーク研究推進地域に本市が指定されたことから予算措置する。

(1)報償費 1,488千円

研修講師謝金、訪問相談員謝金、カウンセリング講師謝金等

(2)旅費 147千円

講師、委員旅費

(3)需用費 279千円

印刷製本費、体験活動消耗品等

(4)使用料及び賃借料 270千円

体験活動バス代

**3 補正に係る財源内訳**

県 10/10 (2,184千円)

**中学校ハートなんでも相談員設置事業費（教育委員会 学校教育課）（拡充）**

**1 事業目的**

問題行動・不登校等の未然防止と早期発見・解決を図るため、生徒等が悩みや不安を気軽に話せる第三者的な存在であるハートなんでも相談員を設置する。

**2 補正の内容** 報償費の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		3,360	380	3,740
財源内訳	県	0	1,260	1,260
	一財	3,360	880	2,480

当初廃止される予定だった県補助について、1/2補助制度が継続されることとなったため、財源補正するとともに、報償費を追加し事業の充実を図る。

(1)当初予算措置状況（報償費3,360千円）

相談員謝金7校分（東、西、南、泉川、船木、中萩、大生院）

（北、角野、川東は県実施のスクールカウンセラー事業）

(2)補正後予算措置状況（報償費3,740千円）

相談員謝金6校分（東、西、南、泉川、船木、中萩）

（北、角野、川東、大生院は県実施のスクールカウンセラー事業）

スクールカウンセラー（川東）

**3 補正に係る財源内訳**

県 1/2 (1,260千円)

## 小学校ハートなんでも相談員設置事業費（教育委員会 学校教育課）（新規）

### 1 事業目的

小学校における問題行動・不登校等の未然防止と早期発見・解決を図るため、児童等が悩みや不安を気軽に話せる第三者的な存在であるハートなんでも相談員を設置する。

### 2 補正の内容 報償費の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	1,260	1,260
財源内訳	県	0	630	630
	一財	0	630	630

小学校ハートなんでも相談員設置事業について、新たに県1/2の補助制度が実施されることとなったため予算措置する。

(1)報償費 1,260千円

相談員謝金3校分（金子、神郷、角野）

### 3 補正に係る財源内訳

県1/2（630千円）

施策費は、これらの事業で、6,899万8千円の増となっています。

## 3 事業を賄う財源（款別歳入）

（単位：千円）

款	補正前の額	今回補正額	補正後
国庫支出金	4,369,198	13,054	4,356,144
県支出金	2,214,882	18,901	2,233,783
繰入金	1,550,803	68,516	1,619,319
諸収入	1,750,592	19,068	1,769,660
市債	4,069,600	117,600	4,187,200
計	40,857,205	211,031	41,068,236

## 4 特別会計の補正内容

（財源内訳は今回補正に係る財源のみ記載しています。）

### (1) 介護保険事業特別会計

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		9,534,819	1,588	9,536,407
財源内訳	国	2,327,200	794	2,327,994
	県	1,307,647	397	1,308,044
	繰入金	1,351,759	397	1,352,156

地域包括支援センターに係る人件費等について、予算措置するもの。

地域包括支援センター管理事業費（1,960千円、人件費等の組替・追加）  
介護給付費準備基金積立金（372千円）